

地域の親子交流を育む AsMama×遠隔手話サービス ShuR コラボ企画**聴覚障がい (Deaf) ママの会発足**

～第1回 2011年12月11日(日) 14:30～ @親子カフェ Babybar (横浜市都筑区)～

いざという時に地域に子育てを頼れる人がいることで、誰もが育児もやりたいこともかなえられる社会であることを目指し、サイトとリアルの両方を通じて、子育てを支援したい人と親子の出会いと交流の場づくりに取り組んでいる AsMama が、引きこもりがちで孤独育児になりがちな聴覚障がいを持つ親子を対象に、交流や学びの場を、通称 Deaf (デフ) ママの会として発足します。また、本会は遠隔手話通訳に取り組む ShuR グループ(代表 大木洵人)とコラボレーションを図り、手話通訳を取り入れた学びの機会の提供や、子育てや生活の中で通訳支援のニーズを探り、デフママが子育てにおいて必要とする頼り処、頼れるサービスを創出していきます。

AsMama は今年の4月から地元子育てを応援したい人たちを全国から募集し、地域子育て救世主、通称「ママサポーター」として育成しながら、彼ら自身が地域の親子交流活動の推進役となることを遠隔支援してまいりました。「私も地元ママの SOS を支援したい!」と声を上げ、AsMama の研修を受け、地域の子育て支援活動に従事するママサポーターは現在、約70名に至っています。

今回発足したデフママの会を主催するのは、聴覚障がいを持ちながら健聴の子を育てる横浜市泉区在住の二児のワーキングママであり、ママサポーターとして活躍を希望する松本茉莉(まつり)さん、30歳。「自分が聞こえないことの子どもへの影響はいつも不安です。子育てに悩むことがあっても、自分が聞こえないことが理由なのではないかと思ってしまう。結局、頼り処が見つけれずデフママは引きこもりがちになるのです。でも、本当は悩みを話したり、色んなことを学んだりしたいと思っています。子どもたちのためにも自分たちのためにも、外に出て、悩みを共有したり、社会的支援の必要性を共に考えたりしあえる場所が必要だと考え、そういう場づくりに励みたいと思っています。」と松本さんはデフママの会の発足への意気込みを語ります。

デフママの会では、聴覚障がいを持つ親子の情報共有の他、子育てに関する有識者や専門家を招いたセミナー等の実施や、必要とする支援の内容についても精査を行い、将来的には遠隔手話サービスを提供する ShuR のサービスが生活支援として供給できるようになることを図ります。第一回目は松本さん自身が身につけたベビーマッサージを通じて、交流の場を行います。

是非、ご取材下さい。

【初回デフママの会】

日時：2011年12月11日(日) 14時30分～16時00分 (開場14時15分)

場所：親子カフェ BabyBar (神奈川県横浜市都筑区中川中央1-1-3 ショッピングタウンあいたい3階)

参加費：親子(1歳以上)で1,500円(ドリンク飲み放題付き)。子ども一人追加あたり300円

以上

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆

株式会社 AsMama (<http://asmama.jp/>) 広報担当

TEL&FAX: 045-263-6433 メール: pr@asmama.jp

横浜市中区北仲通3丁目33-130